

貼ってインフル予防

阪大などワクチン 臨床で効果確認

創薬ベンチャーのコスと研究を進め、5年後に

メデイ製薬(京都市、神も実用化を目指す。

健康な19人を対象に、

山文男社長)と大阪大学 17、18日に横浜市で開

3種類のインフルエンザ

は、皮膚に貼って使うイ

ワクチンで実験した。突

ンフルエンザワクチンを

起に注射と同じ必要量

共同開発した。阪大が実

発表する。(15時)を入れて6時

施した人への臨床研究で

間貼った。3週間後に体

有効性を確認したのは初

内の抗体の量が欧州医薬

めてという。貼るだけで

品庁(E.M.A)が定める

済むため注射が要らず、

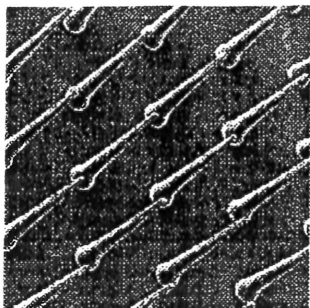
基準を満たしていること

ワクチンも保存しやすく

を確かめた。

なる。大手製薬会社など

ワクチンは通常、空気



先端は0.04ミリで、高

接触などによる酸化を防

さは0.8ミリ。貼ると

くため、冷温で管理する。

皮膚に刺さり、突起部分

突起内にワクチンを密封

に注入してある成分が溶

すれば酸化しにくくな

けて吸収される。突起は

り、常温で保存できる。

小さいため、刺さっても

消費期限も1年以上に延

痛みはほとんど感じな

びるという。

貼るワクチンが実用化
すれば、注射技術を持つ
医師や看護師がいなく
所でも使えるようにな
る。使用時の痛みがほと
んどないため、子どもに
接種しやすい。ワクチン
を手軽に使えるようにな
れば途上国などで需要が
期待できる。